

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
2005年度第1回図書館サービス・システム委員会議事録

日時：2005年5月30日（木）13時30分～17時00分

場所：金城学院大学図書館

出席者：鈴木卓美（金城学院大学）、長坂功（愛知大学）、塚本ひとみ（愛知学院大学）、
木村倫代（愛知学泉大学）、小川真智子（愛知工業大学）、長澤千恵（岐阜聖徳学園
大学）、坂本尚泰（皇學館大学）、春日井正人（中京大学）、蓑島智子（中部大学）、
中川大信（豊橋創造大学）、守田正江（名古屋外国語大学・名古屋学芸大学）、
石田信（南山大学）、柘植幸子（椋山女学園大学） 計13名

記録：柘植幸子（椋山女学園大学）

【協議事項】

1) 委員役割分担について

上記について以下のとおり役割を決定した。

- ・委員長 鈴木
- ・書記 小川・柘植
- ・会計 長澤
- ・ホームページ担当 長坂・春日井・木村
- ・システム・ネットワークアンケート担当 石田・中川
- ・情報交換会、研修会 蓑島・坂本・塚本
- ・データベース説明会 守田

2) 2005年度活動計画ならびに予算について

鈴木委員長より、今年度の事業計画案が提示され、委員会開催予定、活動計画が確認された。また、資料に基づき、委員会予算について報告がされた。

委員会開催予定

- | | | |
|-----|---------------|--|
| 第1回 | 2005年5月30日（月） | 金城学院大学 |
| 第2回 | 2005年7月上旬 | 愛知学泉大学 |
| 第3回 | 2005年9月上旬 | <見学会>（北海道地区コンソーシアム） |
| 第4回 | 2005年10月 | 愛知大学または南山大学
（図書館管理・運営実務責任者会議との合同開催予定） |
| 第5回 | 2005年11月 | <情報交換会> 愛知大学または中京大学 |
| 第6回 | 2006年2月 | 皇學館大学 |

活動計画

1. 委員会の開催年6回程度
2. システム・ネットワーク化アンケートの実施
3. 情報交換会、研修会の開催
4. 見学会の開催
5. データベース・電子ジャーナル説明会の開催
6. 一般開放状況についてのホームページでの公開
7. その他

予算

収入の部の予算は委員会支援費 200,000 円。支出の部の予算は、会議費 100,000 円、
通信費 10,000 円、事務費 90,000 円の合計 200,000 円。事務費の一部はホームページ
作成ソフト購入のため。

3) 東海地区協議会ホームページについて

ホームページ担当委員の業務内訳は以下のとおりである。

- ・長坂委員 - 理事校、図書館管理・運営実務責任者会議
- ・春日井委員 - 研究会、館灯電子版
- ・木村委員 - 図書館サービス・システム委員会
- ・鈴木委員長 - メーリングリスト

4) データベース・電子ジャーナル説明会について

上記について協議がなされ、以下のように決定した。

- ・7月下旬頃の開催を目指す。
- ・各大学への案内はメーリングリストにて行なう。
- ・内容的には、電子ジャーナル総合管理サービスや中小規模大学を対象とした提案を業者に依頼する。
- ・会場候補としては、愛知淑徳大学（星が丘）、南山大学、愛知工業大学（本山）、名城大学等で検討する。

5) 見学会について

上記について鈴木委員長より提案がなされ、協議の結果以下のように決定した。

- ・北海道・札幌地区大学図書館コンソーシアムの見学会を実施する。
- ・時期は9月上旬頃で2泊3日を予定。先方の大学の授業開始前に実施したい。
- ・時間があれば、公立はこだて未来大学の見学も組み入れる。(札幌～函館間の移動に問題あるか・・・)
- ・本委員会メンバーはできる限り参加する方向で検討してほしい。
予算的に難しい場合には、旅行会社による団体割引等を利用することも考えていく。

6) システム・ネットワーク化アンケートについて

上記については、まず担当委員が前年度アンケート内容の確認、見直しを行ない、次回委員会までに素案を作成することとなった。具体的には今後の委員会で協議していく。

7) 情報交換会・実務担当者研修会について

上記については、今後も従来どおり継続して開催していくことが確認された。その理由として、大学間のコミュニケーションを図るために有効であること、委員会の活動報告としてのシステム・ネットワーク化アンケート発表の場として必要であること等の意見が挙げられた。協議・決定内容は以下のとおりである。

- ・今年度は情報交換会を開催する。(宿泊なし)
- ・次回委員会までに、担当委員がテーマ等の素案を作成する。
- ・テーマ候補として、「図書館評価」「一般開放」「危機管理(地震)」「資料の廃棄」「分担保存」「情報リテラシー教育」「eラーニング」「利用教育」「利用者への周知(督促)」等が挙げられた。詳細は今後の委員会で協議していく。

8) その他

- ・鈴木委員長より、昨年発足した新たな組織「東海地区図書館協議会」について説明がされた。従来の「東海地区大学図書館協議会」とは全く別組織で、国公立大学に県図書館・名古屋市図書館を加えた13館によるもので、7月から相互貸借がスタートする予定。私立大学は3大学のみ。(南山大学、中京大学、金城学院大学)

以上